



会社の後は、現代アートの学校 MAD へ行こう！  
 平日は代官山へ、週末はお出かけレクチャーで美術館へ。  
 忙しい方は？ 無料のオンライン・レクチャー FREE MAD から！



MAD2013 チラシ Designed by Masayoshi Kodaira (FLAME)

- ⊗ 自分のペースで学びたい方は、まずは 24 時間アクセス OK! **FREE MAD** へ！
- ⊗ レクチャールームで、みんなと一緒に学びたい方は、**MAD** へ！ さまざまなバッググラウンドを持った受講生同士の交流も魅力！
- ⊗ 多彩なゲスト講師：美術作家からキュレーター、コレクター、美術館館長、ギャラリー・ディレクター、哲学者まで。
- ⊗ **MAD** は、**キュレーター**がプロデュースする、現代アートのプログラムです。

何か新しいことをはじめたい、アートの世界をのぞいてみたい、趣味の幅を広げたい、美術館や新しいアート・スポットにお出かけしてみたい、社会とアートをつないでみたい、自分が好きなアーティストを多くの人に伝えたい・・・現代アートから私たちの時代や社会をながめる MAD では、そんなあなたの思いや好奇心にお応えします。



## 学び方はいろいろ！



### ○ まずは基礎から。アートの歴史 100 年分がオンラインで無料で学べる FREE MAD！

＊100 年の旅をナビゲートするのは、MAD プログラム・ディレクターのロジャー・マクドナルドと、英国で出版された 20 世紀芸術の概説書『1900 年以降の芸術：モダニズム、アンチモダニズム、ポストモダニズム (Art Since 1900)』。世界のアートの歩みに大きな衝撃を与えた運動や思想、作品、批評を紹介し、日本語でわかりやすく解説します。

＊いつも「何か違うもの」を求めたアーティストたちの考えや態度には、きっと私たちの日常生活や仕事の方法や仕組みを変えるヒントがたくさんあるはず。常識を疑い、新たな価値へ向かう彼らの姿勢から、「世界」を捉え直してみませんか？

くわしくはこちら  [www.a-i-t.net/ja/freemad/](http://www.a-i-t.net/ja/freemad/)



FREE MAD レクチャー映像「1930s ドイツ人女性写真家たちの登場」





お出かけや交流会で新しい仲間をつくる、語る！

○ 4月開講のMAD2013 - 4つのコースと3つのゼミ - \*受講割引有り!



### 【4つのコース】

#### 「キュレーション」：展覧会やイベント企画の実践と理論を学ぶ

進化を続ける「キュレーション」の歴史と、これからの姿を探ります。講師と受講生のネットワークづくりができる「交流会」もこのコースの目玉！

#### 「インダストリー」：アート界の仕組みを学び、企画を立ち上げる可能性を探る

アートの仕事を知り、自分でもアート・プロジェクトを立ち上げたい方へ！企画実現のアドバイスが受けられるチュートリアルは、このコースだけ！

#### 「オーディエンス」：美術館やギャラリーなど、旬なアート・スポットを訪問

アートとは何かについて考える入門的なコースです。作品を見て、みんなで意見交換をする「お出かけレクチャー」は、MADの人気No.1！

#### 「アーティスト」：アーティストに必要な基礎的思考や態度を養う

精鋭のアーティストとキュレーターの2人がコースをナビゲート。「プレゼンテーション」では、自分が制作した作品をよりよく見せる方法を探ります！



MADレクチャー風景 クレマチスの丘訪問 静岡県



### 【3つのゼミ】

NEW!!

#### 「アンビエントな美学」

アートを「見る」ことについて、サイケデリック・アート、ミニマル・ミュージックなど、他の表現領域から考える試み。資料として英文テキストを用いるほか、一泊二日の長野合宿も。ロジャー・マクドナルドがリードします。



#### 「アートの詩学と存在論」

未曾有の災害が起きた「3.11」と、私たちの社会の成り立ち、さらにアートという制度の成り立ちの影響関係を考えます。ゼミ生で、小規模な展覧会づくりにも挑戦。小澤慶介がリードします。

#### 「アーティスト・プラクティス」

アーティストを対象にした実践的ゼミ。作品制作から発表までをプロのアーティストとキュレーターとともに進めます。一歩先を目指すアーティスト・コースです。

くわしくはこちら  [www.a-i-t.net/mad/2013/](http://www.a-i-t.net/mad/2013/)



他にも、こんなに楽しいMADのあれこれ！

- 興味の対象やライフスタイルに応じて受講できる。
- 基礎を集中的に効率よく学びたい方は**コース**で、コースを横断してランダムにとりたい方は、**クーポン**購入でアートにアプローチ。また、アートの奥深さに触れたい方は、**ゼミ**へ。
- 講師との距離が近く、国内外で活動するプロフェッショナルと直接意見交換ができる。
- 受講資格は特になし。知識がなくても、今の表現に触れ、踏み込んで考えてみたいという熱意があれば大丈夫。
- **2月28日(木)**までにお申し込みになると、**受講料が10%割引**に。(「ミニマリスト」は対象外)

受講方法、料金、その他特典は、HPをご覧ください。





## 講師は、この人たち!!

### ○ プログラム・ディレクター

ロジャー・マクドナルド (AIT) / 小澤慶介 (AIT)

### ○ レクチャラー

塩見有子 (AIT) / 堀内奈穂子 (AIT) / 住友文彦 (AIT)

### ○ ゲスト講師

ARTISTS' GUILD / アンドリュー・マークル (エディター) / 五十嵐太郎 (東北大学大学院工学研究科教授、あいちトリエンナーレ 2013 芸術監督) / 市川靖子 (アートイベント PR) / ヴィヴィアン佐藤 (美術家) / 遠藤一郎 (未来美術家) / 逢坂恵理子 (横浜美術館館長) / 甲斐賢治 (せんだいメディアテーク主幹兼企画・活動支援室長) / 金島隆弘 (アートフェア東京エグゼクティブ・ディレクター) / 佐々木中 (作家/哲学者) / 沢山遼 (美術批評) / 塩原将志 (アート・オフィス・シオバラ代表取締役) / 志賀理江子 (写真家) / 辛美沙 (MISA SHIN GALLERY 代表) / 須川咲子 (hanare) / 帆足亜紀 (横浜トリエンナーレ組織委員会事務局長) / 保坂健二郎 (東京国立近代美術館主任研究員) / 光岡寿郎 (メディア研究) / 三渚末雄 (ミヅマアートギャラリー・ディレクター) / 宮永愛子 (美術家) / 森弘治 (美術家) / 吉野誠一 (アート・コレクター) / 吉本光宏 (ニッセイ基礎研究所)



## MAD をもっとよく知りたい!!



2013 年 2-3 月にかけて、「MAD オープンデー」を開催します。

各回、プログラム・ディレクターの小澤慶介とロジャー・マクドナルドが MAD2013 についてご案内し、後半は MAD のミニレクチャーを行います。

○ 日時：2 月 22 日 (金) / 3 月 18 日 (月) いずれも 19:00-20:30

○ ミニ・レクチャータイトル

2 月 22 日 (金) 第 2 回「アートの業界、アートの仕事」

3 月 18 日 (月) 第 3 回「キュレーションってどこにむかっているの？」



## 読者プレゼント

抽選で一名様に、MAD の 5 コマクーポン (19,950 円相当) を贈呈します。

\* ご掲載をいただいた場合に限り。 \* 数に限りがあります。



## MAD (Making Art Different= アートを変えよう、違った角度で見てみよう) とは?

NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/ エイト] が 2001 年に開講した、現代アートの理論や実践について、美術史だけではなく、哲学思想や社会学、文化人類学などの関連する学問領域をととして学ぶことができる学校です。これまでに、約 1500 人を超える人々が修了し、アート界に多くの人材を輩出してきました。

○ 画像貸し出し、読者プレゼントおよび MAD に関するお問い合わせ

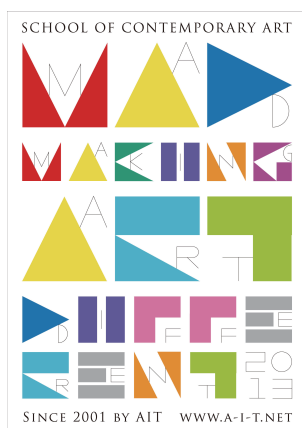
NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/ エイト] 担当：岩崎

Email: otoiwase@a-i-t.net Tel: 03-5489-7277 Fax: 03-3780-0266

■ MAD2013 のお申し込み方法などの詳細は、AIT の HP へ! [www.a-i-t.net](http://www.a-i-t.net)



## 広報用画像一覧



## 1. MAD2013 チラシ

Designed by Masayoshi Kodaira (FLAME)



## 2. MAD バナー

Designed by Masayoshi Kodaira (FLAME)



## 3. FREE MAD バナー

Designed by Masayoshi Kodaira (FLAME)



## 4. MAD レクチャー風景

(中央左: ロジャー・マクドナルド/中央右: 小澤慶介)



## 5. お出かけ MAD レクチャー風景

クレマチスの丘訪問 (静岡県)



## 6. FREE MAD レクチャー映像

「1930s ドイツ人女性写真家たちの登場」



## 7. MAD 合宿 レクチャー風景

広報用画像は、メールにてご申請下さい。

otoiawase@a-i-t.net

画像とキャプションのダウンロードサイトをお知らせ致します。